



もうい
特集 猛猪を避け！

自分の手でおいしいお米を

大江中学校の1年生が、5月23日に小漆川地区内で田植え作業を体験しました。この体験学習は、今年度から始まった米飯給食を契機として、自分たちの食べる米の栽培に関わることで生徒たちに食と農への関心を深めてもらおうと実施されたものです。49人の生徒たちは素足で水田に入り、ぬかるんだ泥の感触に戸惑いながら苗を一つひとつ丁寧に植えていました。



平成30年

6

No.688



もうい 猛猪を防げ!

古くから基幹産業として私たちの暮らしを支えている農業。恵まれた自然環境のもと、町内では県外の方からも高く評価されるおいしい農作物が数多く生産されています。

しかし近年、農家の高齢化や後継者不足に加えて、農業の存続を危うくする別の問題が持ち上がっています。皮肉なことに、それは豊かな土壌で育まれる農産物と同様、自然の恵みの中で生きている野生動物たちの存在です。特に、従来見られなかったイノシシによる被害がここ数年で急激に増加し、農家の皆さんの頭痛の種となっています。

農業の基盤となる農地や手塩にかけた作物を、自然の猛威ともいえるイノシシなどの動物の害からどのようにして守れば良いのか。イノシシによる被害の実態とその対策について特集します。

鳥や獣から作物を守る



自然相手の知恵比べ——ある農家の方は、農業をそう表現します。農作物の収穫量や品質は、日照時間や降水量といった天候に左右されやすく、台風、豪雨、干ばつといった自然災害にひとたび見舞われれば、経営が危ぶまれるほどの甚大な被害を受けます。

鳥や獣といった生き物たちもまた、自然の脅威の一部。おいしい米や果物が大好きなのは何人も人間ばかりではなく、収穫期の農産物は野生の生き物たちにとっても格好の食料となってしまう。田んぼの中に立って米を守ろうとする「かかし」に象徴されるように、作物を狙う野生の生き物たちへの対策は、昔から農業に欠かせないものでした。

本町でも、農業を営む人々は農作物を食い荒らす鳥や獣に長年悩まされてきました。町内で特に多いのは、カラスやハクビシンによる果樹への被害。山間地域ではクマによる被害も大きな損害をもたらすものとなっています。

そして近年、こうした生き物たちにまた新たな脅威が加わりました。町内ではほとんど目撃されることの

平成29年度イノシシ目撃・被害・捕獲情報

情報提供日	場所	区分
4月6日	伏熊	捕獲
4月24日	伏熊	目撃
5月8日	富沢	目撃
5月10日	富沢	目撃 (ウリボウ)
7月24日	伏熊	被害 (ジャガイモ)
8月5日	橋上	被害 (スイカ・サツマイモ)
8月9日	伏熊	被害 (大豆)
8月18日	軽井沢	被害 (稲)
8月23日	伏熊	捕獲
8月24日	深沢	被害 (稲)
8月30日	深沢・用	被害 (稲)
8月30日	橋上	被害 (サツマイモ)
9月15日	深沢	被害 (稲)
9月21日	伏熊	捕獲
9月22日	伏熊	被害 (カボチャ)
10月3日	深沢	被害 (農地)
10月27日	深沢	被害 (農地)
11月1日	深沢	被害 (農地)
11月11日	伏熊	捕獲

イノシシの主な特徴

- 体長：(雄) 約80cm～160cm
(雌) 約70cm～150cm
- 体重：(雄) 約40kg～160kg
(雌) 約40kg～120kg
- 嗅覚：犬と同程度
- 好物：雑食であり、人間が食べるものはすべて食べる (昆虫、ミミズ、小動物など)
- 特徴：「猪突猛進」はパニックになって逆上したときであり、本来警戒心が強く臆病で注意深い。あまり人前にも姿を現さない。ただし、いったん慣れると大胆不敵になる。



イノシシ対策Q&A

- Q1** 低コストで効果的なイノシシの追い払い方法がありますか？
- A1** 農作物の収穫時期に合わせて、軽トラックでパトロールするのが効果的です。
- Q2** イノシシを追い払うのに音や光は有効ですか？
- A2** 一定の効果はありますが、変化のないものはイノシシが慣れてしまいます。
- Q3** イノシシの嫌いな食べ物、臭いなどによる防除は可能ですか？
- Q3** 嫌いな食べ物はほぼありません。臭いは一定の効果はありますが、慣れると効果が薄れます。

※情報・写真提供…農林水産省農作物野生鳥獣被害対策アドバイザー・荒尾穂高氏 (岩手県釜石市役所)

急増するイノシシ被害



なかつた「イノシシ」が、水田や畑、人家周辺にまで頻繁に出没するようになり、これまでに例を見ないさまざまな被害をもたらすようになったのです。

5月20日、用地区内で1頭のイノシシが畏おそにかかっているのが発見されました。体重約100キログラムにもなるオスの成獣です。その2日前にもイノシシが畏から自力で逃げたことが確認されるなど、今年度になって町内での目撃例、捕獲例が後を絶ちません。

町内では平成25年度に初めて発見と被害の報告がありました。が、当時はまだ直接の被害を受けた例はごくわずかでした。ところが平成27年度になると目撃件数が大きく増加し、土壌を荒らされるなどの被害も相次ぎました。平成28年度には野菜への被害が各地で続出。そして昨年度は被害規模が前年度よりもさらに膨れ上がるなど、イノシシによる農作物被害はこの数年の間になぎ上りに増え続けています。

イノシシの目撃や被害は、用、深沢、伏熊の三郷地区で目立って多く、

イノシシの素顔に迫る



本郷地区や七軒地区でも出没が確認されており、その活動範囲は今や町内全域に広がっているといえます。

ここ数年、全国的に生息地域が拡大しているとされるイノシシ。その要因については現在のところ研究成果が少なく、明確な理由はまだわかっていません。しかし人家や農地などの周辺は、付近に食べ物があること、居住に適していること、天敵がいらないことなどから、イノシシにとって生活しやすい環境が整っていると考えられます。

イノシシの雌は、1回あたり4～5頭の子どもを産みます。このため、餌が豊富なうえに敵のいない環境にいったん住み着けば、数年の間に爆発的に数が増える可能性があるといえます。

イノシシは雑食であり、昆虫やミミズ、小動物のほか、人間が食べるものは何でも食べるという性質があります。農作物の被害状況からは、でんぷん質の多いイモ類やカボチャなどを特に好んで食べるという嗜好性も見えてきます。

また、地中のミミズを食べるため

に鼻で地面を掘り起こす習性があり、この行動が農作物の損害以外にも大きな悪影響をもたらします。

さまざまな被害の実態



町内ではサツマイモやカボチャなどの野菜を中心に、イノシシによる被害が多く発生しています。収穫期の米はあまり食べず、夏の時期に、成熟する前の米を食べるために水田を荒らすという例もあります。雑食であるため、一度味を覚えれば果実をはじめあらゆる作物を食べるようにになると考えられ、被害の範囲もこれまで以上に広がっていく恐れがあります。

作物への被害のほかに、深刻なのは農地を掘り起こされる被害です。イノシシがミミズを食べる習性によって広範囲にわたり地面を荒らし回ると、農業機械での作業や作物の運搬の効率が大幅に低下してしまい、また農地の修繕にも多大な時間を費やすこととなります。作物への直接的な被害のように金額には換算できませんが、農家にとっては生産意欲の低下に繋がる大きな損害であるといえます。

このほか、イノシシが水田を荒ら



▲広範囲にわたり荒らされた果樹園(伏熊地内)

し回ったために稲が潰されて出荷ができなくなるなど、被害の状況は多様です。

あらゆる手段で防止策



水田や果樹、畑、人家の周辺にまで出没し、さまざまな被害をもたらすイノシシ。これに対して、現状ではクマなどの他の獣と同様、くくり罠や檻を設置して捕獲する対策が取られています。

県内でのイノシシ被害の急増という事態を受けて、県では毎年11月15日から翌年2月15日まで、だったイノシシの狩猟期間を、平成28年度からは3月31日まで延長することとしました。この期間中、町の猟友会の皆さんによりイノシシを駆除して頭数を減らす活動がおこなわれています。また、農地へのイノシシの侵入に対しても、電気柵を設置することも効果的な方法のひとつです。設置するには多くの費用が伴うため、県で

Interview

用区長
大谷勝美さん



昨年は用地区の多くの畑がイノシシの被害に遭っており、私が栽培しているスイカも食い荒らされました。クマの場合は実だけをきれいに食べるのですが、イノシシはスイカをつるなどもめちゃくちゃにしていきます。ジャガイモも、5mほどの畝のイモが一晩ですっかり食べ尽くされたことがあります。

三郷地区では目撃情報も非常に多く、私も去年の秋、路上で若いイノシシが群れをなしているのを見たことがあります。ブタの堆肥をまくとイノシシが寄ってこないという話も聞きましたが、時間が経つと効果が薄れるようです。今年の秋にはどのように対策したら良いか、今から心配しているところです。

大切な作物を いかに守るか

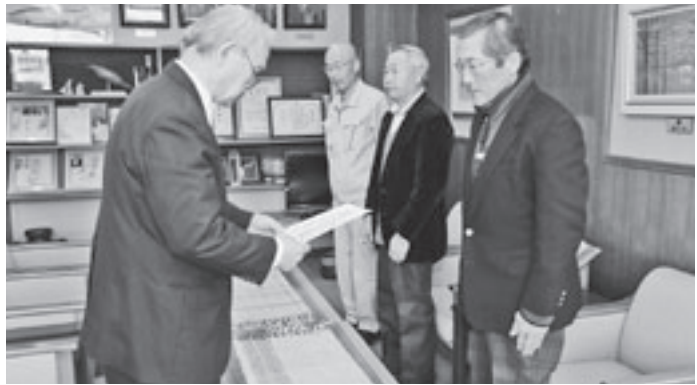


Interview

大江町猟友会
会長
安孫子行雄さん
(13区)

町内のイノシシ被害はここ数年で増加の一途をたどっています。昨年度の狩猟期間中、町内では23頭のイノシシを捕獲しましたが、出産する頭数が多いため今後もどんどん増える恐れがあります。

一番懸念されるのは、イノシシの被害によって農家の皆さんの生産意欲が低下してしまうことです。田畑を荒らされることで農作業の効率が落ち、特に高齢の農業者にとっては大きな負担となっています。現在、猟友会会員でわな猟免許を所持しているのは8人ですが、これからもっと多くの人取得してもらいたいと思っています。農家の方にも免許を取っていただき、できるだけ農作物や農地を守っていく体制をつくる必要があります。



▲ 4月11日、町猟友会の安孫子行雄会長をはじめ35人の方が、今年度の鳥獣被害対策実施隊員として委嘱されました。隊員は被害防止策の普及啓発や捕獲活動などをおこないます



▲ 2月5日、JAさがえ西村山よりくり罠57基が町に贈呈されました。罠は町内各所に設置され、イノシシ捕獲に活用されています

は電気柵設置への補助を検討しています。

今年に入って、町内を通る県道でイノシシと自動車の衝突事故が発生しました。今後道路や人家周辺への出没が増えれば、人がイノシシに襲われて大けがをする事故が発生する可能性も考えられます。イノシシは臆病で注意深く、人前にはあまり姿を現さないといわれています。しかし、何らかのきっかけでパニックに陥ると人に対しても突進などをしてくる恐れがあります。全国の猟友会員の人身事故の中でも、イノシシによる被害は特に多いとされています。もしもイノシシを見かけた場合は、決して近づかず静かにその場から離れるのが安全です。

自然の猛威と共存する



イノシシによる農作物や農地への被害をなくすための、根本的な対策はあるのでしょうか。

捕獲による個体数の調整は一定の成果を上げているものの、被害を減らさせるには至っておらず、最終的な解決策とはいえません。また猟友会会員の高齢化などもあって、イノシシ出没に対する迅速な対応が難し

くなっている状況にあります。電気柵についても、広範囲にわたって設置するには多額の費用が掛かり、維持管理に要する手間も膨大なものになってしまったため、電気柵のみによる防護には限界があると言わざるを得ません。

こうした従来の「対症療法」に加え、イノシシの生息環境の管理という観点からの対策も今後必要になると考えられます。具体的には、周辺の除草や廃棄された果実の除去、緩衝林の整備など、農地周辺でイノシシが生息しにくい環境をつくっていくことで、被害の拡大を防止するという取り組みです。これまでおこなわれてきた対策と並行して継続的に実施していくことにより、将来的にイノシシ被害の拡大を抑えることができるかと期待されます。

イノシシもまた豊かな自然が生み出した生態系の一部である以上、人間の生活圏への侵入や農作物の被害などを完全に防ぐことは不可能であるといえます。米や野菜、果物への被害を少しでも減らす対策を講じるとともに、食と農を育んできた美しい自然と、今後もうまく付き合っていくための「知恵比べ」が必要になってくるのかもしれない。

1

■学ぶ楽しさ盛りだくさん ～平成30年度ぶくらすカレッジ開講式～



▲吉村知事を講師に迎えての開講記念講演。詰めかけた大勢の町民の前で、ふるさとへの思いを語りました

平成30年度おおえ町民大学「ぶくらすカレッジ」の開講式が、5月20日に中央公民館で開かれました。ぶくらすカレッジは「学び・語らい・遊び」をテーマとした生涯学習のための講座で、昨年度から開校。今年度も「どきどき学部」「わくわく学部」「いきいき学部」の3つの学部に分かれ、年齢層や分野に応じた14の講座を開講しています。開講式では、4つの講座について昨年度の活動内容が紹介されました。

今年度はさらに、町民の方が培ってきた知識・技能・趣味などを生かし、講師として講座を実施する「でばん講座」も開講。趣味や日常生活に役立つ知識をはじめ、歴史や伝統文化に触れる学習、仕事に生かせる実践的な技能など、個性豊かな12の講座が開かれており、現在も受講生を募集しています。

開講式後には、吉村美栄子山形県知事を講師に迎

え「生涯学習のよろこび」と題した記念講演が開かれました。沢口地区出身の吉村知事は、大自然に囲まれて育った幼少期を振り返り、ふるさとでの思い出の数々を披露。「地域の皆さんに守られて育ったことを、今とてもありがたいと感じています。大江町の自然の風景を眺めながら過ごしたことが、目の前のことだけにとらわれず、じっくり大局を見するという考え方につながったのではないかと思います」と語りました。また、本町の今後の観光客誘致について、最上川に関する資料を集めた施設の設置なども提言しました。

記念講演には約150人の方々が来場。同郷出身の知事の親しみやすい語り口に耳を傾け、地元ならではのエピソードに笑いが起きるなど、講演は盛況のうちに幕を閉じました。



2

■本町での体験を将来に ～国家公務員地方自治体実地体験～

国家公務員の地方自治体実地体験研修として、中央官庁で今年度新規採用された3人の職員が本町を訪れました。研修は5月28日から6月1日までの5日間の日程で実施され、研修生は町内の施設などを巡り、町や町民の皆さんの取り組みを見学。農作業や保育業務なども体験しました。研修生の一人で厚生労働省職員の久次美沙希さんは「町民の皆さんの将来に対する前向きな思いが感じられました。初めて体験したスモモの摘果作業が印象的で、大江町のスモモをぜひ食べてみたいと思いました」と話していました。

3 ■ここに集い、ここから広がる ～まちなか交流館「ATERA」グランドオープン～

左沢内町横町通りに完成したまちなか交流館「ATERA」が、5月27日にグランドオープンを迎え、記念式典とイベントが開催されました。式典では、渡邊町長、小野祐一町議会議長、指定管理者「P o r t」・小國利宏理事長（7区）、東北芸術工科大学・中山ダイスケ学長、7区区長の山家吉明さん、地域住民代表の小國加奈子さん・珠央さん親子、庄司佳代さん・遥風さん親子がテープカットをおこない、オープンを祝いました。

式典後のオープンイベントでは、施設2階から餅やお菓子をまく「福まき」がおこなわれたほか、NPO法人「グリーンズ」ビジネスプロデューサー小野裕之さんをゲストに迎えての記念講演が開かれ、子どもから大人まで大勢の人でにぎわいました。28日には施設1階のカフェ「ATERA Kitchen」もオープン。初日から多くのお客さんが訪れ、地元の食材を生かした料理を味わいました。

まちなか交流館「ATERA」は、旧銀行施設を利活用した商店街と地域の活性化の取り組みの中で誕生した交流施設です。重要文化的景観の構成要素のひとつにもなっており、レトロな街並みの趣を残しつつ、新たな交流とにぎわいを創出する施設となっていくことが期待されます。



▲グランドオープンを祝うテープカット



▲オープンした「ATERA」1階の様子

4 ■地域とともにきれいな環境を ～左沢高校創立70周年記念事業ボランティア活動～



左沢高校が創立から今年で70周年を迎えるにあたり、記念事業の一環として6月1日に生徒たちがボランティア活動をおこないました。この活動は、地域の皆さんとの交流のなかで相互理解を深めるために企画されたもので、活動には215人の生徒が参加。所属する部活動ごとに、町職員などと協力して町内の公共施設やその周辺の清掃活動などを実施しました。

このうち、にじいろ保育園周辺で草取りなどの作業をおこなった3年生の長岡沙耶香さん（山辺町）は「私たちの学校を応援してくださっている町と地域の皆さんのために活動することができてよかったです」と話していました。



様々な分野で活躍され、表彰された町民の方々を紹介します

瑞宝双光章 (地方自治功勞)



公平規一郎 さん (諏訪原)

今年の春の叙勲において、元大江町副町長の公平規一郎さんが、永年にわたる町政への貢献により瑞宝双光章を受章されました。

公平さんは昭和36年から32年間にわたって、町職員として町の発展のために努められました。その間、広報担当として昭和43年の全国広報コンクール町村の部で全国一となったほか、農林課長、建設課長、総務課長を歴任。退職後は平成4年4月に収入役に就任し、平成5年7月からは14年余りにわたって助役・副町長として住宅団地造成などの政策を積極的に推し進め、人口減少の抑制と交流人口増加のために尽力されました。

公平さんは「今回の叙勲は町職員みんなでもらったものだと思います。この町で生まれ育ち、この町で生涯を通そうとしている私の人生の一区切りと受け止め、今後とも町を愛し続けていきたいです」と、受章の喜びを話していました。

瑞宝双光章 (消防功勞、スポーツ振興功勞)



鈴木 幹太 さん (藤田)

今年の春の叙勲において、大江町消防団元団長の鈴木幹太さんが、永年にわたる消防活動とスポーツ振興への貢献により瑞宝双光章を受章されました。

鈴木さんは昭和46年から39年間にわたって町消防団で消防活動に従事され、平成16年からは団長として団員の育成強化に尽力。平成12年の食品工場の火災の際は自ら陣頭指揮を執って被害を最小限に食い止めました。また、平成9年の世界卓球選手権で審判を務めるなど、豊富な卓球経験を生かして町内の子どもたちの指導にあたり、卓球の普及と技術向上に多大な貢献をされました。

今回の受章について、感慨もひとしおと語る鈴木さん。「消防団では、長年卓球に携わった経験をもとに、自ら『やってみせる』ことを心掛けて団員の指導にあたりました。今後も一町民として消防活動に協力し、卓球の指導も体の続く限り続けたいです」と話していました。

町では、皆さんに町の財政がどのように運営されているかを知っていただくため、年2回（上半期、下半期）定期的に財政状況をお知らせしています。今回は、平成30年3月末現在の平成29年度予算執行状況と町債（借入金）残高の状況をお知らせします。※決算確定額ではありません。



◆一般会計の予算額

(単位：千円)

当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予算現額
5,010,000	410,900	167,288	5,588,188

※補正予算の主なものは、衆議院議員選挙費や道路除雪費などです。

※前年度繰越額の主なものは、地方創生拠点整備交付金事業や道路改良事業などです。

◆歳入内訳

(単位：千円、%)

区 分	予算現額	収入済額	割合
町 税	780,627	781,364	100.1
町 民 税	324,600	322,797	99.4
固定資産税	369,651	373,130	100.9
軽自動車税	27,300	28,853	105.7
たばこ税	40,622	37,843	93.2
入 湯 税	400	464	116.0
都市計画税	18,054	18,277	101.2
使用料及び手数料	71,328	69,637	97.6
繰入金、繰越金、諸収入ほか	803,496	800,987	99.7
地方譲与税	56,000	57,554	102.8
地方消費税交付金	120,000	139,856	116.5
自動車取得税交付金ほか各種交付金	14,853	26,789	180.4
地方交付税	2,206,352	2,239,304	101.5
国・県支出金	778,732	580,209	74.5
町債（借入金）	756,800	150,100	19.8
合 計	5,588,188	4,845,800	86.7

◆歳出内訳

(単位：千円、%)

区 分	予算現額	支出済額	割合
議 会 費	81,373	80,670	99.1
総 務 費	1,226,232	1,108,502	90.4
民 生 費	1,608,041	1,510,228	93.9
衛 生 費	208,412	197,678	94.8
農林水産業費	413,944	368,241	89.0
商 工 費	183,112	162,366	88.7
土 木 費	723,917	564,937	78.0
消 防 費	205,725	201,009	97.7
教 育 費	466,557	419,489	89.9
公 債 費 （借入金の返済）	425,011	413,732	97.3
そ の 他	45,864	38,619	84.2
合 計	5,588,188	5,065,471	90.6

※道路改良事業や橋梁補修事業などを翌年度（平成30年度）へ繰り越しています。

※4月～5月の出納整理期間に執行される科目があるため、歳入・歳出ともに予算現額に対して低い割合となっています。

◆特別会計

(単位：千円、%)

会 計 名	予算現額	収入済額	割合	支出済額	割合
国民健康保険特別会計	993,000	904,753	91.1	893,432	90.0
後期高齢者医療特別会計	104,273	105,252	100.9	102,884	98.7
介護保険特別会計	1,105,020	1,083,536	98.1	977,717	88.5
宅地造成事業特別会計	338,717	331,383	97.8	330,689	97.6
公共下水道事業特別会計	231,430	231,641	100.1	192,928	83.4
農業集落排水事業特別会計	43,040	43,634	101.4	41,459	96.3

◆水道事業会計

(単位：千円、%)

区 分	予算現額	収入(支出)済額	割合
収益的収入	251,521	254,348	101.1
資本的収入	56,325	56,543	100.4
収益的支出	251,521	246,350	97.9
資本的支出	126,034	119,243	94.6

◆町債(借入金)の状況

(単位：千円)

会 計 名	平成28年度末残高	平成29年度借入額(見込)	平成29年度元金返済額(見込)	平成29年度末残高(見込)
一 般 会 計	5,651,413	678,400	394,721	5,935,092
公共下水道事業特別会計	1,939,229	10,000	139,498	1,809,731
農業集落排水事業特別会計	244,127		16,695	227,432
水 道 事 業 会 計	801,169	45,000	33,189	812,980
合 計	8,635,938	733,400	584,103	8,785,235

※平成29年度の借入額、元金返済額、年度末残高は決算見込額としています。

5/16 風を切って全力で駆ける！

町内小学校の陸上競技大会が、5月16日に左沢小学校グラウンドでおこなわれました。この大会には左沢小学校と本郷東小学校の5年生と6年生、合わせて120人の児童が参加。トラックとフィールドの6種目で記録を競い合いました。

大会は強い日差しが照りつける中でおこなわれましたが、児童たちは暑さに負けず全力で競技に臨み、自己記録の更新に挑戦。見守る児童たちも声を張り上げて競技中の仲間たちを応援し、グラウンドは気温以上の熱気に包まれていました。



《競技結果》各種目優勝者のみ

◇100メートル走

5年男子／菊地 逢乃 (左 沢)	16秒 1
5年女子／保科 愛 (本郷東)	16秒 0
6年男子／横山 翔 (左 沢)	15秒 3
6年女子／渡邊 ひな (本郷東)	15秒 3

◇70メートルハードル

5年男子／林 孝太郎 (左 沢)	13秒 2
5年女子／鴨田 七海 (左 沢)	13秒 3
6年男子／横山 翔 (左 沢)	12秒 6
6年女子／渡邊 ひな (本郷東)	14秒 0

◇走り幅跳び

5年男子／櫻井 佑樹 (左 沢)	3 m17cm
5年女子／鴨田 七海 (左 沢)	3 m00cm
6年男子／熊谷 陽希 (左 沢)	3 m63cm
6年女子／渡邊 ひな (本郷東)	3 m76cm

◇ソフトボール投げ

5年男子／佐藤 勇心 (左 沢)	35m55cm
5年女子／堀 瞳月 (左 沢)	21m98cm
6年男子／吉田勇之介 (本郷東)	53m30cm
6年女子／遠藤さくら (左 沢)	34m30cm

◇1000メートル走

5年男子／堀 陵聖 (本郷東)	3分51秒 8
6年男子／大森 灯真 (本郷東)	3分37秒 3

◇800メートル走

5年女子／保科 愛 (本郷東)	2分48秒 2
6年女子／黒川 彩葉 (本郷東)	2分56秒 7

◇400メートルリレー

男子／左沢小学校 6年生	1分03秒 1
女子／左沢小学校 6年生	1分04秒 3

5/19 節目の大会を天気も祝福

大江町グラウンドゴルフ協会が設立から今年で30周年を迎え、これを記念して5月19日に交流大会が開催されました。会場の森ノ宮公園グラウンドゴルフ場も完成から10年目となり、節目が重なったこの大会。48人の参加者は緑の芝生の上で、グループごとにホールを回りながらゲームを楽しみました。

会長の石澤六男さん(美郷)は「みんなが顔を合わせて一緒に楽しむのが、何より健康に良いことだと思います。今日は天気も味方してくれて、本当に良かったです」と笑顔で話していました。





5/26 道海の山菜をご賞味あれ！

旬の山菜の味覚を楽しむ「道海かたくり庵山菜まつり」が、5月26日に開催されました。かたくり庵では平成16年から毎年春と秋にイベントが開かれています。今回は地元の山菜を多くの人に味わっていただこうと、山菜汁や天ぷらなどの料理が提供され、地元で採れた特大のワラビやウドなどが販売されました。

「かたくり庵クラブ」副会長の大瀧学さん(道海出身)は「道海に小学校があったころは、毎年山菜まつりがありました。来年はもっと多くの方にこの山菜を食べてほしいです」と話していました。



5/27 声援を受け投打の真剣勝負

地区対抗でブロック優勝を目指す町民ソフトボール大会が、5月27日に総合体育施設と左沢高校グラウンドでおこなわれました。40回目を迎えた今大会には、町内各地域から24チームが出場。熱のこもった応援の聲が響く中、各選手とも真剣な表情で白球を追い、ファインプレーが飛び出すと惜しめない拍手と声援が送られていました。

《ブロック優勝》

Aブロック／7区 Cブロック／9区A
Bブロック／若原 Dブロック／藤田A



▲見頃を迎えたヒメサユリに多くの人が見入っていました



▲今年初めておこなわれた自然観察ガイドウォーク

5/29~6/7 新緑の中で咲き誇る花園

大自然の中で美しいヒメサユリを楽しむ「大山自然公園ユリまつり」が、5月29日から6月7日までの10日間にわたって開催されました。ヒメサユリは貴重な高山植物で、大山では例年5月下旬から6月上旬に見頃を迎えます。大山自然公園では自生していたヒメサユリを増やそうと平成24年まで植栽がおこなわれ、今年のユリまつり期間中は植栽に加え自生した株が増えたことで多くのヒメサユリが一面に咲き誇りました。

期間中の週末6月2日、3日の両日は好天に恵まれ、町内外から2日間で合わせて約2千人の方が訪れました。来場者はさわやかな新緑の香り漂う遊歩道の中で、淡いピンク色の可憐な花々に目を奪われていました。公園内の広場にはパークゴルフ体験コーナーが設けられたほか、大型遊具のトランポリンも登場し、家族連れなど大勢の人々でにぎわいました。

また、6月1日には初夏の自然に親しむ「自然観察ガイドウォーク」がおこなわれました。参加者は、ネイチャーガイドの佐々木隆馬さん(柳川平)のガイドで公園周辺の植物や生き物などを観察し、本町の豊かな自然を満喫していました。

今日は5月28日の月曜日、時計を見れば4時30分、曇りの天気だが外は明るい。10分ほど外に出て辺りを眺めていたら、カッコウカッコウと気持ちのいいリズムと音調が、柔らかな緑の山から聞こえてきた。木のとっぺんで尾羽を空に突き上げ、調子を取るように鳴いているカッコウを数回見ることがあるが、スズメやカラスのように近くで見たことはない。鳴き声は身近に届くけれど、姿かたちは縁遠い。かなり前にテレビで見たカッコウの「たく卵」の詳細な映像が、繰り返し見られたカッコウの鳴き声で強烈鮮明な残像になって、まぶたに張り付いた。

他の鳥の巣の中に、隙を狙ってカッコウは卵を産む、雛をかえすのは別の鳥——「たく卵」だ。「たく卵鳥」は他にもいるらしいが見聞きしたことはない。びっくり、どつきりは、生まれたばかりの赤ちゃんカッコウの動作——巣の中の他の卵や雛を全部巣の外に落としてしまおう——よちよち動きだ。ちゃっかりな母ちゃんカッコウ、したたかな赤ちゃんカッコウではあるが、自然界の、残酷な生存競争とはいえ、他の鳥にとっては「迷惑千万鳥の王様」で、強烈な残像となった。

学生時代、迷惑をかけて申し訳ありません、と先生に謝ったとき、にこやかに先生は「皆に迷惑をかけながら、私たちは生かされているように思います」と答えられ、迷惑の程度もあるが、「みんなで頑張つてゆく」ときに、許し許され支え合うことが大切だ、と諭され、難しいから楽しいのだ、と艱難辛苦と喜怒哀楽の八文字を喜と楽の二文字に置き換えるように教えられた。あの先生はもういない。

今朝のカッコウは、いろいろな面で先生のお声ではなかったのか。窓から山の緑が見えている。そういえば先生が一番好きな言葉は「愛と夢と語り」であった。素晴らしい大江町の春の朝です。

大江町長 渡邊 兵吾

地域おこし協力隊通信

No.43



3年前、大江町に移り住んだころはちょうどワラビも終わりかけの季節でした。旬を過ぎたその年最後のワラビを「食べてみる」と得意げに差し出してくれた第1村人Mさんの表情が今でも忘れられません。あれから3年。「食べてみる」という言葉さえかき忘れてしまったのは、それだけ私もいろんなものを食べ、肥え、この地域の食に精通してきたということでしょうか。私はこの6月で任期満了となり、協力隊のお仕事を終了させていただきます。地域のお母さんたちとご飯をつくったり、お父さんたちに混ぜて草刈りをしたり酒を飲み交わしたり、快適すぎるもんぺを履いて日常を過ごしていたり。20代で経験したことを同世代の友達と比較すると、ヘラヘラと会話が弾みます。そんな日常を綴った「あどばい日記」も今月が最後の発行となりました。発行は終了となりますが、これからも続くあどばい毎日を1日1日大切に過ごしていきたいと思っております。今まで読んでいただきありがとうございました。



地域おこし協力隊 野木桃子

↑地区の皆さんとの芋煮会にて

短歌

たのしみは飲食にこそと思いつつ母の日に行く料理のお店

松田 皜

故里は道路崩れし遠くなり山菜萌える脳裏を巡る

佐竹磨砂湖

参道の倒れし樹々を片づけて我人生の役割思ふ

山家 重之

天仰ぎ乱れ咲きたる山法師真白き花の命はかなき

長岡かつ子

戦世に征きて散華の父兄の遺影は我を如何に見つめむ

菊地つねよ

春と秋二度咲きつつ下恋しうらやましくも老い下思ひ

佐竹 與鼓

ねむることも生命の力なるべきぞ夫の手をとり昼寝する妻

(介護施設にて) 斎藤 徳治

俳句

筍飯せがむ大盛はらの虫

阿部 一風

雪溶けて草の面々段飾り

鴨田富士夫

万緑や香り豊かに望みたる

松田 皜

五月の山には五月の風が吹く

今井 茂樹

寝返りをうつ子可愛いや柿若葉

安藤 桂花

台所蟻列なして夏来る

山家 重之

水盤にまたもひよっこり雨蛙

熊谷 勉

山気澄み郭公の声透き通る

舟山 三男

ががんぼのガラス戸叩く信長忌

伊藤 啓泉

吟遊浪漫

ぎんゆうろまん

※このコーナーに掲載ご希望の方は、毎月20日(必着)まで役場総務課に作品をお寄せください。



この春高校を卒業し、現在電子機器のコールセンターに勤務している遠田さん。利用者から寄せられるさまざまな問い合わせに対応するため、製品の仕様や機器トラブルの対処法について日々勉強しながら業務にあたっているそうです。

「件数が多い日は電話が鳴り止まないこともあります。でも、お客さんから感謝されると本当にうれしいですね」

中学、高校とバスケットボール部に所属していた遠田さんは、現在も週に1度仲間たちと一緒にバスケットをして汗を流しているそうです。

「高校2年生の時、県大会でスリーポイントシュートが面白いように決まったんです。それがうれしくて一生懸命練習して、またいいプレーができるようになって……気がつけば夢中になっていました」

来年はもっと楽しんで仕事ができるように、今は目の前の仕事を一つひとつ着実に覚えていきたいという遠田さん。仕事でも「成功体験」が新たな道を切り開いてくれるかもしれません。

遠田 勇介さん (18歳・みなみ)

あのシュートが夢中にさせてくれた

シリーズ企画

月刊

仲間とエンジョイ!

No.16

町内でスポーツや文化活動などを楽しんでいる皆さんをご紹介します。

くるみ 大江町胡桃俳句会

世話人：伊藤登啓(啓泉)さん(小見)

俳句は「五・七・五」のわずか17音で詩情を表す、日本人にとってなじみ深い文芸です。大江町胡桃俳句会は、俳句を愛好する皆さんがその魅力に親しむために集まった会で、会員は現在16名。俳句をより深く味わうために「俳句に親しむ講座」と題した勉強会を年に約10回開催しているほか、町の文化祭への出展、年1回の作品展、文芸雑誌や新聞への作品投稿など、幅広く活動されています。

伊藤登啓(啓泉)さんは「紙と鉛筆1本あれば誰でも作品を作れるのが俳句です。興味のある方は、気軽に参加してみてください」と話していました。



▲5月9日の「俳句に親しむ講座」に集まった皆さん



▲町の文化祭での作品展。額や色紙、写真など、見た目にも鮮やかな作品が並んでいます

お知らせ

7月は「社会を明るくする運動」 強調月間・再犯防止啓発月間です

「社会を明るくする運動」とは犯罪や非行のない地域社会を築いていこうとするもので、保護司を中心に運動をおこなっています。

7月2日(月)7時15分から役場正面玄関前にて第68回「社会を明るくする運動」キャラバン出発式をおこないます。また、その後JR左沢駅および大江中学校にて非行防止などの呼びかけをおこないます。共に呼びかけに参加してください。ぜひ当日、出発式にご参加ください。

海外研修や留学の交通費を補助します

おおえ国際交流協会では、地域の活性化に貢献できる人材を育てるために「海外研修事業補助制度」を設けています。夏休み中の海外留学やホームステイなども補助対象となり

ますので、ぜひご活用ください。

◆対象者／町内に住所を有し、現在居住している方（勉学のためやむを得ず町外に居住する学生も含む）

◆補助金額／交通費の2分の1以内（限度額は1人20万円・小学生の場合1人10万円）

※原則として研修実施の1カ月前までに申請書の提出が必要です。

※対象となる研修など、詳細についてはお問い合わせください。

問 政策推進課政策推進係

☎(62)2118

特定公共賃貸住宅(みなみ団地)入居者募集

◆所在地／大江町大字本郷字南己1番地の29（C棟5号）、121番地の30（D棟6号）

◆入居住宅／C棟5号（2階建 2LDK 面積75㎡）、D棟6号（2階建 2LDK 面積64㎡）

◆応募条件／①世帯の月額所得が15万8千円以上48万7千円以下であること、②現に同居し、また同居しようとする家族がいること、③月額家賃（C棟5号）所得に応じて4万6千円～6万1千円、（D棟6号）所得に応じて4万円～5万3千円、④敷金（C棟5号）18万3千円、（D

健康づくり教室

～薬編～

生活習慣病予防を目的とした4回講座の「健康づくり教室」を開催します。第1回目のテーマは「薬」です。なかなか聞く機会のない薬剤師さんのお話ですので、ぜひご参加ください。参加費は無料です。



また、今後「糖尿病予防編」「運動編」を開催予定です。2回目以降の教室の詳細については、役場や中央公民館、ふれあい会館などに設置してあるチラシ、もしくはホームページをご覧ください。

◆日時／7月5日(木)10時～11時半

◆会場／大江町保健センター

◆内容／講話「心がやすらかで、体がすこやかに過ごせるために～高血圧・血糖編～」

◆講師／小國修広氏（薬の一久・薬剤師）

◆申込方法／1週間前までに電話で申込

問 健康福祉課保健衛生係 ☎(62)2114

棟6号）15万9千円、⑤暴力団関係者は入居をお断りします、⑥町内の方を連帯保証人にできる方

◆募集期間／6月22日(金)まで

問 建設水道課管理係 ☎(62)2116

6月23日～29日は

「男女共同参画週間」です

キャッチフレーズは、「走り出せ、性別のハードルを超えて、今」です。「男女共同参画社会」の実現のために、この期間に男女のパートナーシップについて考えてみましょう。

問 政策推進課政策推進係

☎(62)2118

第18回 最上川ゴムボート川下り大会

◆期日／7月8日(日)※小雨決行

◆受付／中山町せせらぎ公園（長崎大橋付近）7時20分～8時

◆開会式／ふれあい会館 8時50分～(スタート10時)

◆参加資格／2人1組で小学校3年生以上の泳げる方

◆参加料／1組2,000円

◆申込期限／6月22日(金)必着

※町ホームページ掲載の大会要項をご確認ください。

問 大会事務局（中山町建設水道課）

☎023(662)2116 FAX023(662)5176

または、大江町建設水道課管理係 ☎(62)2116

重度心身障害(児)者医療制度・ひとり親家庭等医療制度をご存じですか

一定の障害をお持ちの方や母子家庭・父子家庭などのひとり親家庭の方に、医療費の一部を助成しています。



助成を受けるためには医療証の申請が必要です。現在医療証をお持ちでない方で右の要件に該当すると思われる方は、お問い合わせください。

※現在医療証をお持ちの方には、更新の案内を郵送していますので、ご確認ください。

☎ 税務町民課国保医療係
☎ (62)2291

	重度心身障害(児)者医療	ひとり親家庭等医療
制度の内容	医療費の自己負担が1割または無料になります。(保険適用分のみ)	医療費の自己負担が無料になります。(保険適用分のみ)
対象者	①身体障害者手帳1・2級 ②精神障害保健福祉手帳1級 ③公的年金各法の障害等級1級相当 ④療育手帳A ⑤特別児童扶養手当1級 ①～⑤のいずれかに該当する方で町民税所得割額が235,000円未満の方 ※ただし、16歳未満の被扶養者がいる場合1人につき33万円、16歳以上19歳未満の被扶養者がいる場合1人につき12万円を所得から控除した額で再計算した場合、町民税所得割額が235,000円未満になる方は対象になります。	①ひとり親家庭の母または父で、所得税非課税の方およびその方に扶養されている18歳以下の子ども(父母が就労などにより収入を得ていること) ②所得税非課税の方に療育されている両親のいない18歳以下の子ども ※ただし、16歳未満の被扶養者がいる場合1人につき38万円、16歳以上19歳未満の被扶養者がいる場合1人につき25万円を所得から控除した額で再計算した場合、所得税が非課税になる方は対象になります。 ※求職活動中の方や傷病または家族の介護のために就労が困難な方も対象になります。
申請時の持ち物	・印鑑 ・保険証 ・対象となることが確認できるもの(身障者手帳・年金証書など)	・印鑑 ・保険証 ・父母が就労していることが確認できるもの(保険証・就労証明書など)

県内河川一斉清掃

7月は「河川愛護重点運動期間」です。県内河川一斉清掃がおこなわれますので、皆さんのご協力をお願いします。

◆日時／7月1日(日) 6時から1時間程度

※小雨決行(雨天および増水で危険な場合は7月7日(土)とします)

◆場所／最上川、月布川、小清川、大瀬川河川敷

☎ 建設水道課管理係 (62)2116

消防設備士試験受験準備講習

◆日時／7月26日(木)

◆会場／山形ビッグウイング(山形市平久保)

◆講習種別／①甲種および乙種第1類、②甲種および乙種第4類、③乙種第6類

◆受付期間／6月21日(木)～7月10日(火)

◆申込書入手先／西村山広域行政事務組合消防本部、山形県消防設備協会(ホームページからダウンロード)

☎ 一般社団法人山形県消防設備協会
☎ 023(629)8477

先日、JR左沢駅近くの駐車場

に2羽のハトがいました。見ると、アスファルトの上をとことこ歩きながら無心に何かをついばんでいます。おそらくは、目に見えないほどの小さな草の葉や種などを食べていたのでしょう。普段それほどに粗食なハトからすれば、人間の与える「ハトのエサ」などはきつと大層なごちそうに違いありません。もしも、おいしいお米やフルーツを目の前に置いたら……?

今回の特集ではイノシシなどによる被害をピックアップしましたが、あえて「有害鳥獣」という言葉は使いませんでした。丹精込めて育てあげ、ようやく収穫できるまでに実った農作物を、無情にも食い荒らす鳥や獣——農業を営む方からすれば「有害」以外の何ものでもないのももちろんです。しかし、ある国で作物を食べるスズメを徹底的に駆除した結果、今度は天敵のいなくなった虫たちが大量に発生し、かえって被害が増大したという例もあります。かといって「愛護」が行き過ぎれば、それもまた生態系バランス崩壊の原因に。自然界の連鎖構造は「風が吹けば桶屋がもうかる」一理論ですら比較にならないくらい複雑怪奇。何が「益」で何が「害」なのか? ハトは一生涯命うなずくばかりで、何も答えてはくれませんでした。



編集後記
(伊藤智治)

思い出の まいぞうひん My 蔵品

No.32

皆さんの心に残る思い出の品を、それにまつわるエピソードとともにご紹介します。



▲大江さんが学生時代に着用した、カバディ日本代表のユニホームとジャージ

一番思い出深いという、インド武者修行時代に所属したクラブチームのユニホームを着ていただきました

カバディを始めたのは、大学生の時、日本代表選手だった先輩に誘われたことがきっかけでした。将来性を買われたのか、私も1年生の時にいきなり日本代表に選ばれ、翌年バングラデシュに遠征して親善試合に出場。そこで本場チームとの圧倒的なレベルの違いを思い知らされました。「それなら世界で一番強い国に行ってみよう」と、1カ月間インドに武者修行に行きました。その後、大学のチームの一員として全日本選手権で優勝を重ね、卒業後にOBチームとして出場した際にはMVPも獲得しました。

このユニホームを久しぶりに見て、当時のことを懐かしく思い出しました。今思えば、あのころはうまくなりたい一心でただがむしゃらに突き進んでいたような気がします。

カバディはチームワークと個人技の両方が重要とされるスポーツです。そこからいろいろなことを学び取って、人間的に成長できたように思います。園長を務めている大江幼稚園の子どもたちにも、粘り強さや挑戦する心を持ってもらいたいと願い、今もカバディを教えています。

(9区 大江光洋)

★皆さんの思い出の詰まった「宝物」はありませんか？ 懐かしい写真、長年愛用している道具、旅先で購入した記念の品など、なんでも結構です。総務課情報システム係 ☎(62) 2187まで、ぜひお知らせください。

戸籍のまど

4月21日～5月20日受付分

ご結婚おめでとう

区名・出身地名	氏名
(市の沢	清野 崇広
若原	後藤 仁美

ご冥福を祈ります

区名	氏名	年齢
藤田	村上サダ子	(88)
9区	會田 朋美	(41)
上北山	林 利美	(79)
十八才	庄司 金三	(84)
藤田	阿部 勝藏	(75)
藤田	大沼ハナヨ	(92)
藤田	板垣 金好	(86)
7区	安食 幸七	(87)
9区	嶋之木忠太郎	(90)
藤田	鈴木なかゑ	(94)
藤田	鈴木 ハル	(93)



人口と世帯(前月比)

町の人口	8,298人(-15)
男	4,124人(-8)
女	4,174人(-7)
世帯数	2,925戸(-3)

平成30年6月1日現在

※掲載を希望しない場合は、届け出の際にお申し出ください。